



令和2年3月13日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 向笠 弘子

穏やかな春の光の中に小鳥の音が響いています。子どもたちの声が園に戻ってくるのを待っているかのようです。「年少さんにこれを教えてあげよう!」「年長さんにプレゼントしよう!」と、残り少なくなった今年度の園生活の中でやりたいことを先生や友達と考えプロジェクトを進めていた最中の休園。子どもたちが、このことをどのように思い、どのようにその気持ちに折り合いをつけるのかと思うと心が痛みました。ですが、ピンチはチャンスです。会えない友達と「会いたい!」という気持ちが大きくなり、来年度の園生活や小学校生活への意欲の育ちにつながっています。園生活でやり残したことへの思いが、次の活動を創り上げていく力になったりします。この園だよりで、子どもたちの成長の足跡と職員の感謝の気持ちが皆さんに届くことを願っています。年長さんはまたどこかで、年少さんは春休みが終わって、元気な姿に会えることを楽しみにしています。

おおきなあれ! (さかわっこの育ち)

子どもの力で!!!

友達と力を合わせて子どもだけの力でできることが増えました。遊びも必要なことやルールを友達と教え合い、課題があっても自分たちで解決しながら進める姿が多く見られるようになりました。もちろん、遊びの準備や片付けも自分たちで行っています。自立心や協同性が育ちました。



鬼ごっこの陣地づくりも、友達と決めながら準備 (年長)

リレーの並び順を自分たちで決めていました (年少)



砂場の道具も自分たちで片付け (年少)

ドッジボールのルールも伝え合いながらゲームを進めていました (年長)

だれかのために!!!

自分のために、年少さんのために、年長さんのために…。誰かのために『どうしたら喜んでもらえるか』そのためには、今までやったことのないこともドキドキしながら友達と一緒に乗り越えてきました。そのことはきっと、年長組や1年生になってからの新たなことに挑戦する意欲につながっていくことでしょう。



大切に育てると卒園式のころに『ありがとう』って咲くと言って大切に育てた“ありがとうのはな(水仙)” (年長)



パンジーの苗やチューリップの球根を植えました。卒園する年長さんや入園してくる年少さんのために、幼稚園をきれいにしようと友達と教え合いながら植えていました。(年少)



お楽しみ会で年長さんにひなあられをご馳走しようと散歩に出かけた年少さん。先生からもらったお小遣いで買えるひなあられを探して、いざレジへ! お小遣いが足りるかどうかがドキドキの買い物でしたが、年長さんのために勇気を出して乗り越えました。(年少)

年長ほし組～こんなに大きくなりました～

絵本の部屋の引っ越しから始まった、ほし組♪『自分たちの幼稚園は自分たちで綺麗にするんだ!』進級の喜びと共に意欲溢れる姿がありました。皆で力を合わせていくことの大切さに気付く中で、友達同士のかかわりも深まっていきました。



畑にも非常に興味をもっていました。指導に来てくださる鈴木さんいつも「すずきさーん!」と嬉しそうに歓迎する子どもたち。地域の方に支えられている安心を感じながら、子どもたちは成長することができました。栽培物への関心が高まったことで、「ありがとうの花(水仙)」を大切に育てる心が育っていました。

たくさん話し合ったほし組さん。常にみんなで考え「どうしようか?」と話し合いました。うまく決まったこともありました。意見がまとまらず衝突することもありました。でも、たくさん話したからこそ、ほし組の子どもは友達の良さに気付いたり、自然と助け合ったりする姿に変わっていました。



いろいろな経験を重ねたからこそ、子どもは自信をもって活動に取り組むことができました。『自分でやる!』『みんな!できるから見て!』子どもたちの中から自分を表現し、発信しようとする姿も多くありました。友達が受け入れてくれる、認めてくれる、そんな安心や自信を小学校での活動にも活かして行って欲しいと思います。

～保護者の皆様へ～

「3月はこんなことをしよう♪」と期待を膨らませていたそんな矢先の出来事で、とても残念に思っています。しかし、保護者の皆様のご理解ご協力があったからこそ、一年間クラス運営を行うことができました。改めて感謝いたします。ほし組の子どもたちは、困難なことにも立ち向かえる、強くたくましい子どもたちに成長しました。本当に嬉しく思います。これからも形は変わりますが、皆さんのことをずっと応援しています。一年間、温かく見守っていただき、本当にありがとうございました!

ほし組担任一同

ありがとう



ございました!





年少 さくら組・ばら組 ~いろいろなことができるようになりました~

園服を着たり脱いだり、畳んだりするのはとても難しかったけど、毎日繰り返すことで自分できるようになりました。「おはようございます！」と大きな声で登園できるようになりました。できることから少しずつ挑戦していくと、こんなにも自信をつけ、大きく成長するのですね。『今日はここまでやってみよう!』『できた!!』が『明日はここからやってみよう!』につながっていきます。これからも「大丈夫だよ。」と見守ってあげてください。



“おめでとう”の気持ちを込めて年長さんとのお別れパーティーを企画していました。おやつにするひなあられを買いに行き、卒園式用のコサージュを作り、グループ毎に司会進行の言葉を練習していました。開催できず残念でしたが、最終日年長さんが「ひなあられ、美味しかったよ!」「ありがとう。」と言いに来てくれ、『ちゃんと気持ちって伝わるのだな』と実感したことでしょう。年長さんのために、クラスの枠を越え、何ができるかを考え、友達の意見を聞いて、決めることができるようになったことは決して無駄にならない経験です。憧れの年長さん、次はみんなの番になります。

「今日は何をして遊んだの?」「明日はどうする?」活動の振り返りをしていると自分の気持ちを言えるようになり、次第に友達の話も聞けるようになり、「その遊びやってみたい!」と次の日参加してみることもつながりました。友達に「セロテープ貸してくれる?」「一緒に机運んで。」と言えるようになり、「やってあげようか?」と手助けをしてあげられるようになりました。困った時に先生や友達に助けてもらえた体験が「私もこうしたい。」という気持ちを生んだのでしょうか。困ったときに伝えたら、しっかりと受け止めてくれる人がいるって嬉しいですね!



幼稚園に来るたびに、「春のこの歌、歌いたかったな。」「この絵本読みたかったなあ。」と、さくら組さんと3月を過ごせなかったさみしさでいっぱいです。でも、2月まで本当にたくさんを一緒にやったなあと充足感もいっぱいです。最終日は全員の顔を見ることができました。でも、転園してしまう友達のことをみんなにきちんと話せず、お別れ会もできなかったこと、本当にごめんなさい。さくら組さんのことが大好きです。そして、これからも応援しています。保護者の皆様、いつも温かく見守っていただき、一年間ありがとうございました。子ども達の笑顔のために共に助け合いましょ。

さくら組 担任一同

突然来てしまった子どもたちのお別れの日。レストランごっこも、大型バスや電車ごっこも、太鼓の達人も「出来上がったら、さくら組やほし組を招待したい!」という子どもたちの思いを残したまま終わらせたことが残念でなりません。年長になる修行もあと少なかったかなあと思いつつ、11ヵ月、しっかりと育った子どもたちを、自信をもって年長に送り出します!ワクワクもするけれど、ちょっぴりドキドキする子どもたちをどうか焦らず、普段と変わらない心で、頑張っているところを具体的な言葉でいっぱい褒めてあげてください。1年間ありがとうございました。

ばら組 担任一同

沢山の方に支えられて

ゴスペルコンサートでは、音楽を楽しみながら、自分なりの表現で、友達と一緒に音楽を楽しみました。



サッカー教室では、楽しみながら諦めない心とルールを守る大切さを学びました



地域の方や保護者の皆さんのおかげで、子どもたちが沢山の経験をすることができました。1年を振り返り、沢山の方に支えられ、豊かな経験をし、心や体が大きく育っていることを改めて感じます。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

お茶会・座禅体験を通して、一つ一つのことに心を込めることや相手のことを思うことの大切さを学びました



地域の方による読み聞かせでは、沢山の絵本やお話と出会い、豊かな心が育ちました。



“そだてやさん（畑）”で収穫した野菜で作ったお味噌汁。畑の先生に教えてもらいながら、子どもたちの手で野菜を育てることで、命の大切さを学びました。



幼小交流で作った紙飛行機。1年生になる期待がまた一つ大きく膨らみました。

ありがとうございました

保護者の皆様へ

2月28日に突然休園になり、保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけし申し訳ありません。そのような中でも、「先生たち大変ですね。体に気をつけて。」と、沢山の温かい言葉をいただきました。この温かい心に常に支えられ、1年間子どもたちとの園生活を創り上げていくことができたことと改めて感じました。今までの、温かいご理解とご協力に、職員一同心より感謝いたします。来年度が、子どもたちと保護者の皆様そして地域の皆様にとって笑顔いっぱいの日々になることを願っております。

